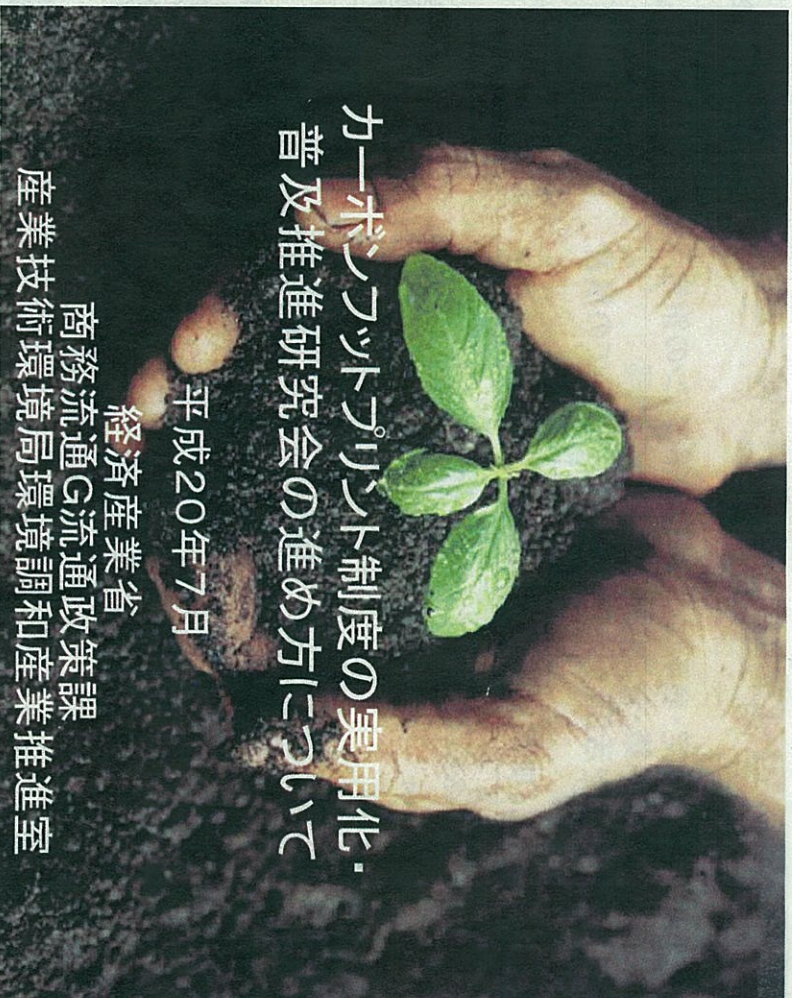




研究会の進め方について

カーボンフットプリント制度の実用化・普及推進研究会

- ・有識者、事業者、民間団体による制度の実用化及び普及に関する検討を行う。
- ・年度内に4回程度開催し、ガイドラインを策定。

成果を相互にフィードバック

CO2排出量の算定・表示・評価に関するルール検討会(※ルール検討会)

- ・有識者による制度設計上の技術的課題に関する検討を行う。
- ・秋頃までに3回程度開催し、中間とりまとめを行う。

○普及事業の実施と効果の検証

- ・「エコプロダクツ2008」での試行品の展示

- ・消費者の受容性調査

- ・セミナーの開催

○制度実用化に向けた課題の整理

- 普及に向けた検討

○我が国におけるカーボンフットプリント制度のあり方の検討

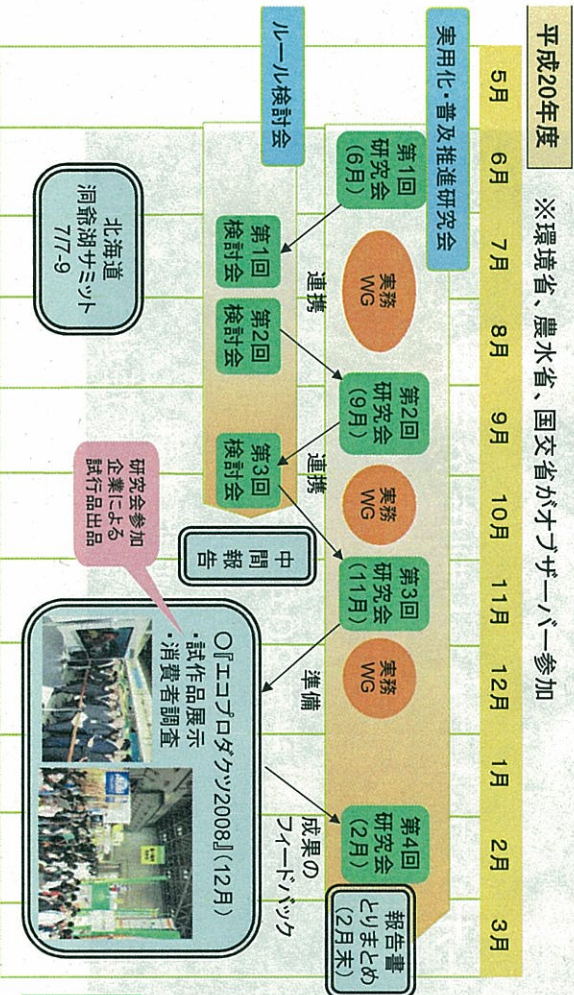
- ・制度の目的、定義、基本的要素等
- ・算定・表示方法のあり方
- ・正確性・信頼性を担保するシステムのあり方
- ・カーボンフットセット等、他のCO2削減努力との関係

カーボンフットプリント制度の実用化・普及に向けた事業スケジュール

《事業内容》

(平成20年度)

- ▶カーボンフットプリント算定・表示にかかるガイドラインの策定
- ▶カーボンフットプリント構築・普及に向けた課題の整理
- ▶カーボンフットプリントを活用した制度のあり方についての提言(平成21～22年度)
- ▶モデル事業を実施し、実際に店頭での流通を開始



《参加企業》

【小売】

- ・イオン
- ・セブンイレブン
- ・ローソン
- ・フジミリーマート
- ・ユニー
- ・生協
- ・消費財メーカー
- ・サッポロ
- ・カゴメ
- ・カルビー
- ・日清食品
- ・日清製粉
- ・紀文フーズ
- ・ユニチャーム
- ・コクヨ
- ・花王
- ・ライオン
- ・松下電器
- ・東芝ライテック
- ・大日本印刷
- ・日本テトラパック
- ・東洋製罐
- ・中央化学

平成21年～22年度
○試行品の拡大
○市場への流通
○ガイドラインの精緻化

国内外の標準化に向けたスケジュール(案)

